

令和7年7月30日

南箕輪村議会議長 笹沼美保様

提出者名 唐澤由江

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	総務経済常任委員会視察、バイオマスボイラー
研修・視察実施場所	長野市若穂保科温泉、群馬県丹下温泉
研修・視察の期間	令和7年7月28日～29日
研修・視察の成果等	<p>① 長野市環境基本条例を1997年に策定。間伐材、キノコ廃培地、食品加工残渣を利用して、長野市バイオマス産業都市構想をR3年6月策定、固形燃料化木質ペレットブリケット化した。地域波及効果を上げている。</p> <p>保科温泉木質ペレットボイラーは、H24年3月から導入。ドイツの機種ヒラカワイニシャルコスト234万3千円ランニングコスト433万円耐用年数10から15年で故障。稼働停止。重油ボイラーで稼働。これは失敗例。</p> <p>② 群馬県丹下温泉美郷館はKWBバイオマスボイラーで2017年2月稼働開始した。灯油からバイオマスにしたら燃料代が半分になり、年間で数百トンの2酸化炭素が有効活用できるという。この旅館の次世代の高山さんから聞いた。ストックはボイラー室手前にヤードがあり、チップが入れられていた。これは群馬森林組合連合会から仕入れ、丸太の皮をむきチップ化し特別に保管してもらっているという。そこも急遽見学させてもらった。2つの機械を購入し、稼働停止のためという。今のところコンピューター制御で順調という。導入実績は、全国29台稼働中（2020年12月現在）稼働中23カ所、準備中8カ所 大芝の湯にも是非進めたい。」</p>

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。